



# KAKEHASHI

R2.11.30 Vol.50

発行:岩手県ふるさと振興部市町村課

## INDEX

### I 応援職員のご紹介

- (1) 山田町 . . . . . p2
- (2) 陸前高田市 . . . . . p3
- (3) 大槌町 . . . . . p4
- (4) 釜石市 . . . . . p5

### II 特集

- (1) 「岩手県応援職員大阪会（仮称）」  
立ち上げに向けて . . . . . p6
- (2) みちのく潮風トレイル  
. . . . . p7

### III Information . . . . . p8



**宮古市**  
復興の状況を  
写真でご紹介します。  
<写真提供:宮古市>



イーストピアみやこ  
(市本庁舎、保健センター、市民交流センターの複合施設)



三陸沿岸道路 山田宮古道路開通



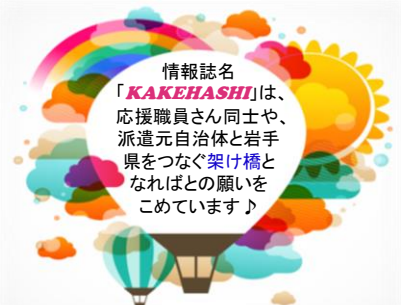
三陸鉄道リアス線新田老駅開業



鉾ヶ崎地区(ラウンドアバウト)



田老地区三王団地



応援職員から

- ①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

①目賀田 佳佑 (めがた けいすけ)  
 ②岩手県盛岡市 ③R2.4.1～R3.3.31  
 ④都市計画課工務係 (台風災害復旧チーム)  
 ⑤私は前職で建設会社に従事してまして、主に宮古市や陸前高田市の復興道路の工事に携わっておりました。三陸自動車道の開通や町の賑わいを見て、復興が進んだことを感じています。

昨年10月の台風災害直後の派遣要請の際は、業務の都合で志願することは叶いませんでしたが、今年度より長期派遣の要請を受け、志願させていただきました。

復興事業に携われることを誇りに感じるとともに、微力ながら山田町の災害復旧に貢献出来るよう、残りの期間も従事していきたいと思っております。

日々の業務として、工事現場の監督業務に励んでおります。



①中村 昂平 (なかむら こうへい)  
 ②岩手県矢巾町 ③R2.4.1～R3.3.31  
 ④都市計画課工務係 (工事発注・現場管理等)  
 ⑤今年の4月に矢巾町から山田町へ派遣され、早くも残り数ヶ月となってしまいました。実は昨年度も2ヶ月間山田町へ派遣で来ていましたが、相変わらず職場の雰囲気も良く、仕事では派遣という立場ですが様々なことを勉強させていただき、非常に充実した日々を送らせていただいております。

また、山田町は食べ物も非常に美味しく、ついつい食べ過ぎてしまい最近では体重が増えてきてしまいました。残りの期間も少なくなってきましたが、体重や健康に気を付けつつ、少しでも復興のお役に立てるよう頑張ります。

山田町の居酒屋にて、特にお寿司がおいしかったです。



派遣先職員から

- ①氏名 ②所属 ③一言

①箱石 智生 (はこいし としを) ②都市計画課  
 ③「目賀田佳佑さん、中村昂平さんへ」

目賀田さん、中村さんは、4月から災害復旧工事に関する業務を担当し、豊富な経験と知識を活かし、すでに数多くの復旧工事を発注するなど大変ご活躍いただいております。素晴らしい人材を送り出してくださいました盛岡市・矢巾町の皆様に感謝申し上げます。

早いもので半年が過ぎましたが、今ではすっかり職場にも馴染んでおり、ずっと前から一緒にいる仲間のように思えてなりません。出来ることなら、このまま山田町にお願いできないものですかね…。

一緒に仕事できるのも残り半年を切ってしまいましたが、健康にはご留意いただき、ともに頑張っていきましょう！





## 応援職員から

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

- ①安原 重人（やすはら しげと）
- ②愛知県名古屋市
- ③R2.4.1～R3.3.31
- ④水道事業所（水道業務全般）
- ⑤私は震災直後に応援部隊として宮城県石巻市へ派遣され、その時に陸前高田市を含む沿岸部の調査を行ったことが縁となり、今回こちらに来ることがようやく（9年ぶり！）できました。

岩手県の印象は自宅（名古屋）の隣人が岩手県出身で親切な方なので、その印象があります。派遣先の職場は少数精鋭で運営しているため、協力して業務に臨む必要があります。私のこれまでの経験が少しでもお役に立っていれば幸いです。

休みの日には沿岸部や観光地、寺社等を巡る予定でしたが、コロナの影響で自粛していたので、予定の半分も行けていません！今年度も残り少なくなってきましたが、3密に気を付けながらこの雄大な東北地方をバディ達と共に駆け回りしたいと思います！

バディ②号も11月から新しく加わりました！

配水管敷設工事の書類検査の様子  
左が安原さん



バディ①号

- ①千葉 斉昭（ちば なりあき）
- ②愛知県名古屋市 ③R2.4.1～R3.3.31
- ④地域振興部観光交流課（名古屋市との交流推進）
- ⑤最初に派遣の話をしたときは東北のどこにあるのか、どのように行くのか皆目見当がつかなかった陸前高田市でしたが、半年以上住み、いろいろ見聞きする中で次第に土地勘も出来てきました。

新型コロナウイルスの感染に気をつけながら、勉強もかねて県内を巡り、八幡平の夕日や紅葉の美しさ、花巻をはじめとする各地の温泉の気持ちよさ、北山崎や宮古の荒々しい海岸美に心打たれ、SL銀河にも乗車しました。

冬は西和賀の雪あかりや三陸鉄道のこたつ列車に乗っての列車旅を楽しみにしています。岩手県の広さ、奥深さに魅せられる毎日です。

ここでの勤務もあと僅かですが、陸前高田市と名古屋市の交流推進のために力を尽くしたいと思います。

住田町の滝観洞にはヘルメットをかぶって入ります。



イシカゲ貝を食べました！

※イシカゲ貝は、広田湾が国内で唯一の養殖産地となっており「幻の貝」と呼ばれています。



## 派遣先職員から

①氏名 ②所属 ③一言

- ①佐々木 賢也（ささき けんや）
- ②水道事業所
- ③「安原重人さんへ」
- 安原さんには、上水道の災害復旧工事について、設計や監督をお願いしています。

災害復旧工事もう少しで一段落というところで、慌ただしい中で業務を進めていただいておりますが、技師不足の当市において貴重な人材であり、大変感謝しております。

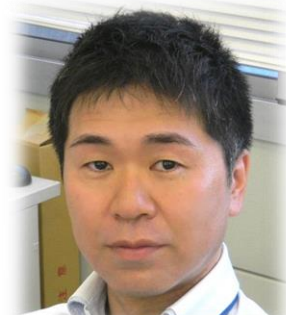
水道施設管理の面でもご尽力いただいておりますが、ご負担をおかけしているところですが、体と心の健康を維持しつつ、陸前高田市を楽しみながら、今後もご支援いただければ幸いです。



- ①村上 聡（むらかみ さとし）
- ②地域振興部観光交流課
- ③「千葉斉昭さんへ」
- 千葉さんには、4月から名古屋市より赴任いただき、主に名古屋市との交流事業、観光施設の管理業務を担当いただいております。

これまでの豊富なキャリアを活かし、持ち前の明るさと実行力、そして抜群の安定感で仕事を進める姿は、本当に頼もしい限りです。

休日もアクティブに東北各地を回っているとのこと、寒い冬を迎えますが、三陸の美味しい食材、地酒で燃料補給しながら、復興の総仕上げに向け、お力添えをお願いします。





応援職員から

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

①高橋 真二（たかはし しんじ）  
 ②岩手県紫波町 ③H31.4.1～R3.3.31  
 ④上下水道課  
 ⑤同じ岩手県の内陸からの派遣となり、今年で2年目を迎えております。主な担当業務は、下水道（汚水管）の未普及解消と復興事業を行っています。  
 これまで、職員の方々や派遣の方に助けられながら事業執行に奮闘しています。期間限定ではありますが、復興事業の推進に微力ながら関わることができたことは貴重な経験です。  
 残り数ヶ月の派遣期間ですが、よろしくお願いします。



側溝の清掃中です。



①室谷 仁（むろや じん） ②東京都立川市  
 ③H31.4.1～R3.3.31 ④上下水道課  
 ⑤昨年度に引き続き大槌町派遣継続となっております。（もちろん希望しました。）  
 相変わらずこちらの寒さには全く慣れないものですが、非常に温かい地元職員の方々と業務に取り組んでいますので、寂しい思いをすることは不会です。  
 業務内容は工事の設計・施工管理が中心ですが、維持管理が主体となっている都市部ではできない経験をさせていただいております。復興事業も残りあと僅かですが、大槌発展のために少しでも貢献できているのであれば、ありがたいなと思っております。



現場確認中です。



室谷さん

関東からの派遣者の集まり

派遣先職員から

①氏名 ②所属 ③一言

①岩間 正徳（いわま まさのり） ②上下水道課  
 ③「高橋真二さん、室谷仁さんへ」  
 両名共に大槌町派遣2年目で、主に下水道分野を担当していただいております。復興関連事業だけでなく、通常工事の監督員としても大活躍の二人で、とても頼りにしております。  
 今年は飲み会自粛中のため、お酒の席での無礼講を理由に二人をイジる機会がなく残念です。コロナ禍で大変な時期ですが、毎日何かしら笑いが起こる職場となっているのが、せめてもの救いになっていれば幸いです。  
 これまで紫波町さんと立川市さんには継続的に素晴らしい人材を派遣いただきました。皆さんとまたお会いできる日を楽しみにしております。



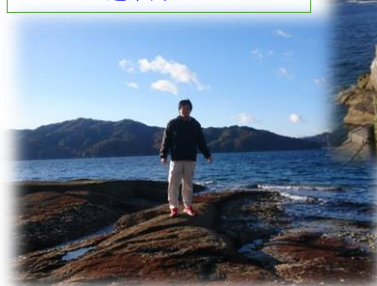
二戸市浄法寺町の稲庭岳にて



## 大槌町

①山本 由貴（やまもと よしたか）  
 ②宮崎県高千穂町 ③R2.10.1～R3.3.31  
 ④環境整備課工務班  
 ⑤東北に来るのは初めてで寒い所だと思っていましたが、宮崎県と変わらない気温だと感じたのが第一印象でした。11月を迎え、派遣先で1ヶ月が過ぎ、新たな生活にも慣れてきましたがとても寒いです。職場の空気が良くて、一人暮らしの生活からすると話し相手がいて、楽しく感じます。休日は山に登ったり、運転が好きなので初めての土地を満喫しています。半年間と中途半端な期間になりますが、自分に出来ることを微力ながら頑張ります。

ひょっこりひょうたん島の蓬莱島にて



蓬莱島 復興工事竣工記念碑

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

### 応援職員から

①三上 雅弘（みかみ まさひろ）  
 ②福岡県北九州市 ③H29.4.1～R3.3.31  
 ④復興推進本部生活支援室（仮設住宅に関する業務）  
 ⑤仕事の内容は、被災した皆さまに仮設住宅の暮らしから再建していただく事です。それも職場一丸で取り組んだことで、震災の象徴でもあるプレハブ型仮設住宅は年度内に撤去されることになりました。私は釜石在住で採用された職員なので、被災した方や市役所内に旧知が多く、業務を行う上での助けになりました。派遣元でも様々な方との交流を楽しんでいます。写真はコロナ禍が広がる直前に開催された北九州マラソンで、北九州市の方とチームで出場したときのものです。（表彰台2位にいるのが私です）

## 釜石市

①明松 誠一郎（あけまつ せいいちろう）  
 ②福岡県北九州市 ③H29.4.25～R3.3.31  
 ④都市整備推進室（工事監理）  
 ⑤私は福岡県北九州市から岩手県釜石市に派遣され、今年で4年目となります。釜石市では主に津波被災地区における宅地の嵩上げ、インフラ整備工事の監督管理を行っています。私が担当した釜石市東部地区は令和元年度に概ね復興事業が完了し、今年度は整備した施設の各所管課への引き継ぎを主に行っています。今年度末で釜石市での派遣任期満了を迎え、北九州市へ戻ることとなりますが、最後まで全力で復興支援に携わりたいと思います。



北九州マラソンの表彰台 2位が三上さん



明松さん

明松さん



釜石道の遠野-遠野住田 IC 開通記念マラソン

職場旅行（志戸平温泉にて）

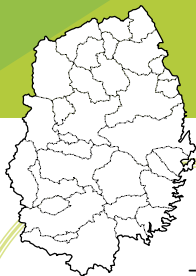
### 派遣先職員から

①氏名 ②所属 ③一言  
 ①柄内 宏文（とちない ひろふみ）  
 ②復興推進本部生活支援室

③「三上雅弘さんへ」  
 今年度末には、仮設住宅入居世帯も退去し、全て建物も解体となりますが、今でこそ皆さん再建先が決まり完成待ちの状況ではありますが、現在に至るまでの様々な各世帯の課題の解決、なかなか退去の進まない世帯への対応等、担当職員として大変苦労されたことと思います。ありがとうございました。まだ仮設住宅には入居されている世帯が数世帯いらっしゃいますので最後の1世帯までお世話いただくよう引き続きお願いいたします。



# 「岩手県応援職員大阪会（仮称）」 ～立ち上げに向けて～



岩手県応援職員情報誌「KAKEHASHI」をご覧の皆様、こんにちは。  
平成29年4月から平成31年3月までの2年間、応援職員として山田町へ派遣されておりました  
大阪市水道局の大輪祥史と申します。

東日本大震災で被災した岩手県内沿岸市町村の1日も早い復興のため、昨年度まで大阪府内各自治体及び民間企業から延べ約250名が岩手県及び岩手県沿岸市町村に応援職員として派遣され、復興事業に従事してきました。

また、現在も約10名が岩手県及び岩手県沿岸市町村において応援職員として復興事業に従事しています。

派遣期間が終了し、既に帰任された皆様の中には、現地の復興状況などが気になっている方、第二の故郷である岩手県を恋しく感じている方などが多くおられると思いますし、現在、派遣されている皆様におかれましても帰任後に同様の思いを持たれることと思います。

そこで東日本大震災から10年を迎える今年、「岩手県応援職員大阪会（仮称）」を立ち上げ、大阪府内各自治体や民間企業から岩手県及び岩手県沿岸市町村に応援職員として派遣された皆様が、帰任後に派遣当時の思い出などを話せる場、そして、つながりや交流が持てるような気軽な場を設けたいと考えています。

なお、今年は、コロナ禍ということもあり、対面での交流会などの開催は難しいことから、当面の間はFBやLINEを活用した交流の場にしたいと考えておりますが、コロナの終息状況によっては、一堂に会しての交流会などを開催したいと考えています。

以上のことから、会の立ち上げに向け、まずは会員名簿を作成したいと思いますので、ご賛同いただける方は、下記連絡先に記載のアドレス宛に「①氏名、②派遣元、③派遣先、④連絡先」をお知らせくださるようお願いいたします。

最後に、今回、「岩手県応援職員大阪会（仮称）」の立ち上げに向けた呼びかけに、「KAKEHASHI」の誌面を使用させていただいた岩手県市町村課の担当者の皆様、そして、市町村課との窓口になってくださった岩手県大阪事務所の土井尻所長に心から感謝申し上げます。

(連絡先)	
氏名:	大輪 祥史
所属:	大阪市水道局総務部企画課
電話:	06-6616-5410
アドレス:	<a href="mailto:y-daiwa@suido.city.osaka.jp">y-daiwa@suido.city.osaka.jp</a>

## <沿岸被災市町村の復興の状況>



「鮭とひょうたん島の町」  
(大槌駅観光交流施設)



「釜石祈りのパーク」  
(東日本大震災犠牲者慰霊追悼施設)



キャッセン大船渡  
(「キャッセン」とは「いらっしゃいませ」  
という意味の方言です)



陸前高田市中心市街地  
(商業・図書館複合施設 *abasse* TAKATA  
「アバッセ」とは「一緒に行きましょう」という  
意味の方言です)



海のオランダ島  
(陸中山田駅)

# みちのく潮風トレイル⑤



## 宮古市浄土ヶ浜・田老ルート（浄土ヶ浜ビジターセンター～田老駅）

1泊2日、総距離数：約24.8km、所要時間：約10時間12分

※所要時間は、歩く速度や施設での滞在時間によって変わりますので、計画を立てる上での目安としてご覧ください。

出典：みちのく潮風トレイルHP  
(<http://tohoku.env.go.jp/mct/>)

**たろう観光ホテル**（学ぶ防災：言葉を失うほどの自然の驚異を目の当たりに）

景色のよい浜辺を歩き続けた先にあるのが「たろう観光ホテル」。ここも東日本大震災の遺構となっている施設。

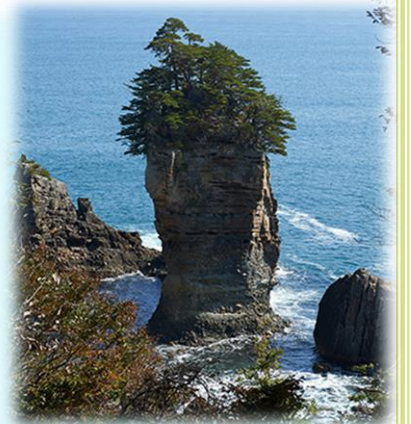
現在、田老地区では震災時の様子や復興の状況を伝えるための「学ぶ防災」プログラムが実施されている。ガイドによる防潮堤の案内やマスコミ非公開のDVD上映で、生々しい震災の災禍を目にすることができます。

（案内の予約は、宮古観光文化協会 学ぶ防災担当まで）



**三王園地**（波と風の芸術・三王岩の迫力を間近で感じる）  
再び浜辺へ歩みを進め、三王園地へ。ここは、波と風がつくりだした芸術・三王岩と雄大な太平洋が眺められる遊歩道です。

高さ50mの男岩を中心に、寄り添うように立つ女岩、ごろりと丸みのある太鼓岩は、間近で見ると圧倒される迫力。潮風を受け、三陸海岸の自然美を満喫しましょう。



**浄土ヶ浜**（いつまでも佇んでいたくなるおだやかな光景）

浄土ヶ浜の名は、約300年前に地元・常安寺の和尚さまが、「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆したこと由来。実際に白い浜から、青いさざ波の上に並ぶ、緑のマツと白い奇岩のコントラストの美しさは、思わず時間を忘れて見とれるほど。

浄土ヶ浜の海の風景は、訪れる時間や季節によって様々な表情を見せてくれます。



**みやこ浄土ヶ浜遊覧船**

浄土ヶ浜の周遊が楽しめる遊覧船。

定期運航の「浄土ヶ浜周遊コース」は、浄土ヶ浜を出港し、宮古湾を一周40分で巡るクルージング。運が良ければ潮吹穴で盛大な潮吹が見られるかも!?（R3.1.11が最終運航となりますので、ご注意ください。）



**浄土ヶ浜ビジターセンター**（自然の大きさと美しさをバーチャル体験して出発！）

旅のスタート地点は、宮古駅前から岩手県北バスで約15分ほどの浄土ヶ浜ビジターセンター。

ここで、浄土ヶ浜地区をはじめとした三陸復興国立公園全体と、みちのく潮風トレイルの情報をキャッチ。体験シアターや展示で、雄大な景観や三陸の風土にふれ、期待をふくらませてから歩きはじめましょう！





市町村課に来ている  
県内市町村研修生より  
「わがまち」を紹介してもらう  
コーナーです。まだ知らなかった  
岩手の情報満載です♪

今月のわがまち紹介

大地に舞う(岩泉町)

唐突ですが「神楽」と聞くと、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。「ヒ〇カミ神楽」はさておき、「黒森神楽」を思い浮かべる方が少なからずいらっしゃるかと思います。

黒森神楽はあまりにも有名ですので、今回は私の地元である岩泉町小本（おもと）地区に伝わる「七ツ（頭）舞」（ななつ（ず）まい）を紹介します。

七ツ（頭）舞は、黒森神楽の演目の一部に起源とすると言われており、無病息災・五穀豊穡等を祈願し、七種の道具を用いて七種の演目を舞う郷土芸能です。小本地区には「中野」、「中里」、「中島」、「大牛内」の4つのエリアにそれぞれ「中野七頭舞」、「中里七ツ舞」、「中島七ツ舞」、「大牛内七ツ舞」の4つの七ツ（頭）舞があり、現在、保存会や地域の小中高生を中心に伝承され、各エリアの神社のお祭りのほか、町内の各種イベント（例年であれば、8月の町郷土芸能祭、10月のおもと鮭まつり等）において披露されています。

中でも中野七頭舞は国内外から高い評価を得ており、動画投稿サイトにも多数アップロードされています。実際に生でご覧いただくのベストですが、このご時世ですので、ぜひ検索していただき、勇壮な舞をご覧いただければと思います。

岩泉町からの研修生 K 氏



中野七頭舞の「チラシ」による入場



中野七頭舞の「みあし(鳥居掛かり)」



中野七頭舞の「道具取り」





市町村課職員のTweet  
コーナー。応援職員さんへの  
アドバイスあり、季節の話題  
や岩手の紹介あり、  
ゆる〜いタッチで様々な  
情報をご提供します。

## 今日のTweetつぶやき

### <大正コソコソ噂話>

「鬼滅の刃」が大ブームになっている今日この頃、先日私も家族で映画を見てきました。

さて、「鬼滅の刃」は鬼退治のお話ですが、鬼退治の老家である桃太郎の昔話について、幼い頃、大正生まれ（偶然にも、「鬼滅の刃」と同時代）の祖母から、次のような異説を聞いた記憶があります。

～鬼を退治して、村に帰ってきた桃太郎。しかし、桃太郎は川に流された桃から生まれた身であり、おじいさん、おばあさんの本当の子ではありません。桃が流れてきた川の源流をたどり、自分を捨てた本当の家族を探すため、桃太郎は再び村を出て、二度と帰ってきませんでした。～古くから伝わる話なのか、単なる創作だったのか、祖母も亡くなった今となっては、よくわかりません。

ただ、次のようなことから、本県は「鬼」との縁が特に深い土地柄とも言えます。

- ・「岩手」の地名の由来として、懲らしめられた鬼が岩に手形を残した逸話があること（写真は、鬼の手形が残されているとされている、盛岡市内の三ツ石神社です。）
- ・「鬼剣舞」や「スネカ」「ナモミ」といった「鬼（のようなもの）」を模した郷土芸能や行事があること
- ・歴史的にも本県は日本の「鬼門」であり、蝦夷や奥州藤原氏と、中央政権との争いが繰り広げられたこと（中央に反抗した者が、「鬼」の起源になったのかもしれない。）

そんな、本県特有の土地柄から、一般的な桃太郎とは異なる、鬼を退治した者のその後の物語が生み出されたのかもしれない、ふと思いました。

以上、「大正コソコソ噂話」でした。

宮古市出身 選挙管理委員会 Y氏



三ツ石神社

### <空前の釣りブーム>

最近、仲間うちで空前の釣りブームが到来しています。私はなかなか予定が合わず、未だ行けておりませんが、釜石に、宮古に、久慈にと毎週のように釣りに出掛けているようです。

このように書くと、いかにも釣りに詳しいように思われるかもしれませんが、釣りに参加しているのは全員ほぼ釣り経験なしの素人。そのため、道具にも特にこだわりはなく、ホームセンターで購入できる数千円のファミリー用釣りセットで楽しんでいます。それでも意外と釣れるもので、週末の夕方は釣果報告が送られてくるのが恒例行事となっています。

このところすっかり冬めいてきて、日が一昨日釣り糸を垂らしているには少々肌寒い季節となってきましたが、皆様も「食」だけではなく「釣り」で岩手の海の恵みを感じてみてはいかがでしょうか。

盛岡市出身 市町村課 K氏



とある日の釣果(@釜石)

### ★応援職員相談窓口のご案内★

応援職員の皆様が慣れない環境の中で可能な限り円滑な業務遂行を行い、より良い執務・生活環境を確保できるよう、常時受付する相談窓口を設置しています。

お気軽にご相談ください。

mail: FA0052@pref.iwate.jp

またはFA0052@pref.iwate.lg.jp

TEL: 019-629-5236

発行元連絡先 岩手県ふるさと振興部  
市町村課 調整担当

mail: FA0052@pref.iwate.jp

または FA0052@pref.iwate.lg.jp

TEL: 019-629-5236